

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174100511		
法人名	有限会社ヤマギシ企画		
事業所名	グループホーム入江 2階		
所在地	釧路市入江町8-29		
自己評価作成日	平成23年2月18日	評価結果市町村受理日	平成23年4月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0174100511&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内
訪問調査日	平成23年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

去年、外部評価を受けてから、皆で考え、理念を改正しました。それが一番大切にしたい事だと思えます。

◎ 私達は利用者さんの尊厳を守り、命令かつ支配的な言葉を使わず、常に穏やかで、和やかな会話と態度で接します。

◎ 私達は利用者さんの残存能力や病状を適格に判断して自立支援いたします。

◎ 私達は利用者さんが安全、快適、笑顔で過ごせる環境作りに職員一同支援いたします。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を暗記するようにフロー会議で各人、毎月発表する事になった。まだ完全な地域密着とまではなっていない。理念は共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会、小学生など交流があるが、日常的とまではいえない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	あまり活かしきれていないと思う。そういう機会を増やしたい。もっと多くの事を発信していきたい。地域密着型サービスとしての理念も皆で作り、職員は重要性を理解している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活かしていると思いますが、一般社員ももっと、出席してみたい。運営推進会議のメンバー同士で福祉の輪が広がってきている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホーム長や管理者がしていると思いますが、一般社員には分からない。GH協会の役員もしているので、協力関係はできていると思います		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んではいますが、新入社員など全職員が理解しているかどうかは分からない。夜間は施錠している。身体拘束はしていないと断言できるが、言葉の拘束、薬の拘束は100%していないとはいえない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修は沢山あり、多数の人が参加している。言葉の虐待など、気付かない事もあるかも知れない。虐待に関する職員の意識は高い。		

グループホーム入江2階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	指導者は理解している。当ホームにも成年後見制度を利用している方がおられる。職員の中でも情報交換を蜜にしなければならない。この種の研修が少ない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム長や管理者が行なっている。一般職員はよく分らない。契約時にいかに、きちんと説明する事が出来るかが、今後の家族のクレームになるかどうかの鍵となる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、運営推進会議などで意見を述べる機会はある。反映されてはいるが、もっと沢山の家族からの意見をもっと聞きたい。目安箱を置き始めました。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に一度ホーム長と面接がある。常に提案できる環境であり、意見もあるが、反映までには至っていない。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は現在、体を壊し、ホーム長が代行している。他のホームに負けない労働環境だと思えます。職員の出入りを見れば一目瞭然だと思えます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の研修は充実しているが、ホームとしては、教育システムが確立されておらず、なあなあになってしまう事がある。研修時間はパートでも勤務時間として扱っている。ここ1年間で49名の社員を研修に出している。又資格手当が充実しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協で年に10回以上の研修があるので、他ホームの顔見知りが増えている。交流をもっと増やす予定である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家に帰りたい人を、強制でなく、納得していたできるように、職員全員で工夫し、研究し実行しています。入所当時は帰宅願望が強い人が多く、実際に何度も本人の家まで同行することもあります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御本人の希望は勿論、家族の意向も十分に考慮し対応しています。また家族が対応できない時は家族に代わって支援しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームで在宅で戻った利用者はおらず、他のサービスを利用したことはない。退所されたからの家族とも夏祭りや避難訓練に参加してくれています。全額負担で他のサービスを希望する家族がおられ、支援しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人自ら、何でもやって貰いたい人もいます。人数の関係もあり、業務に追われがちである。自分を職員同様に思い、働いていると思う人も多い。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	よく訪問してくれている家族と馴染みの関係ができています。家族との交流を深める為にも、出来るがぎり家族で出来る事はしてもらうようにしている。ホームの行事にも積極的に参加してもらうようにしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前通っていた床屋などに案内しているが、認知症の重篤化と共に、必要でなくなっていく事が多い。全員の要望に全て応える事は出来ていない。本人達の趣味なども出来るように支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知症の種類、精神病との合併など症状も違い、円滑な人間関係を保つ事は難しい。職員が個人に合わせて声掛けや話を聴くようにしている。又利用者が利用者をサポートする事もあり、そういう関係を大切にしたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	当ホームを退所した方は全員、すでに死亡しています。その家族が避難訓練や行事に協力してくれています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ふだんの生活時から気持ちを引き出せるような会話ができている。本人の思いを大切に支持しています。そうすることにより、体、心の様子が把握でき、不穏にならない支援が来ていると思います。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアプランに記載され、会議等でも情報交換している。生活歴を参考にしたり、家族、親戚、知人が来られた時、情報収集に心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式にのっとり記録をつけています。利用者本人の発した言葉も記録しており、本人の生の姿が垣間見られる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アイデアなどがよく出て実践されているケースが多い。家族からの意見は少なく、本人で意思表示できない人もいるのできちんとアセスメントする事が肝要である。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を通してスタッフ間のコミュニケーションはとれている。毎月のフロー会議では記録を参考にしながら情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援という考え方、もっと沢山必要だと感じる。ボランティアや他の資源を活用しながら、利用者の思いに近づきたいと思っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本当ならもっと地域資源を活用し楽しめたら良いと思う。もっと地域と交流を図っていきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望が必ずしも、適切な医療とは限らない。往診、訪問診療など、現在は各利用者にあった医療を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護ステーションと連携しており、毎日健康管理記録をつけ情報共有し、協働している。いつもと違う症状がでた場合は電話等で相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各病院の医療相談員とは入退院に関わらず、グループホームの空室状況の件で情報交換や相談をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療関係者、家族、ホームとは早い段階から話し合いをもっている。家族から、感謝されている結果になっています。あまりに話し合いが早すぎたのか、元気になってしまい、ターミナルという感じが薄まることもあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ほぼ、毎年救急時の研修を受講するようにしている。知識はあるが経験不足である。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練をしたり、マニュアルを作ったりして、周知徹底しているが、実際の時はどうなるかは、不安である。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は意識して対応しているが、慣れが恐ろしい。理念にもある通り、とても大切にしている項目です。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	働きかけているが、まだまだ出来る事があると思う。閉じた質問(yes no で答えれる)は避けている。利用者が不安や不満を訴えた場合はじっくりと話を聞く時間を取るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	完全ではないが、50%ぐらいはできていると思う。利用者の生活の場なので、そういう方向で運営していくつもりです。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髭そりや毛染めなど大体できている。季節に合わせた衣類、鼻毛きりなどこれからも注意していく。		

グループホーム入江2階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	洗い物は職員と一緒にいき、食器拭きは何人かの利用者がしてくれる。買い物に同行する事によって食べたい物を聞くようにしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事摂取量は全員記録している。なかなか、勤めに応じてくれない人がある。記録と照らしあわせて、声掛けして誘導している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、うがいや義歯の洗浄を行っている。口腔ケアは全員にはしていないが、本人に応じて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各々の利用者によって見込みが難しく、苦労しています。現在オムツの人はおりません。出来る限り、トイレで排泄できるように支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の牛乳、水分摂取、運動、下剤投与などで対応している。排便状況によって利用者の体調、気分も影響するので、介護員として最も気をつけていることです。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一度利用者にあわせて、支援しましたが、結局午前や夕食後に入浴希望の方がおられず、現在の昼食後になっています。要望があればその時間に対応いたします。入浴中はユックリと職員と会話したり歌を歌って楽しんでいる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中眠っている時は無理に起こさず、就寝前に服薬し、個々に合わせ一定の時間に服用できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者や担当者は承知しているとは思いますが、職員全員が理解しているとは思えない。服薬の間違いないように、名前、朝、昼、夕、就寝前を確認しながら本人に渡している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お茶をたてたり、畑作りをしている人もいる。各々の趣味、思考が違う為、人間関係の調節に悩む事も多い。まだ全員に対しては出来ない。		

グループホーム入江2階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	冬期は決まった通院、買物以外殆ど外出の機会がない。突発的、日常的を考えると、人員の関係ですぐ出来るとは限らない。徘徊に関しては何時間でもお付き合っている。雪が解けるとお花見、温泉、ドライブ、外食と多岐に亘って支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物に参加する利用者は自分で買物を楽しんでおります。利用者のIADLに合わせて支援できている。家族と相談して少額なら自分でお金を持っている方もおられる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自らはないが、ホームを通してやり取りが出来るように支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	正月、節分、雛祭り、端午の節句など季節感を出すように工夫しているが、まだ出来ると思う。加湿器は新しく大きいものを用意し、現在2階で2台、1階で3台使用している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	時間によって、自然と気の合う同士が集まってくる。共有空間に大型のアームチェア2台新調した。テレビを新調してから、そこで過ごす時間が増えた。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具等を勧めてはいるが、新しい物を買ってくる方も多い。個々色々です。部屋の調度品や使い方は契約時に確認した安全を脅かすようなもの以外、なにも規制はしておりません。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	多少の転倒の危険があっても、生活の場として、不自然な規制は最小限にしています。会話を工夫したり、趣味を活かしたり色々考えて支援している。コール、センサー、ポータブルトイレなど個別対応しています。		